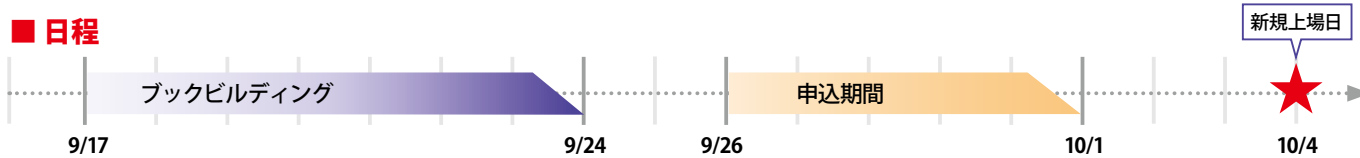


IPO銘柄 バリュースター (6078・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
6078	100株	公募: 24.5万株 売出: 11.5万株 (OA5.4万株)	1,800円~2,000円 (12.6倍)	野村証券



健康管理統合システムを軸に健康保険事業の支援サービスなどを提供

■ 事業内容

健康管理統合システム「バリューカフェテリアシステム」を核に健康保険組合の設立や保険事業支援、健康管理サービスを展開する。バリューカフェテリア事業では、システム提供と健康保険組合の行う保険事業などに対して健康維持増進を目的とした施策や福利厚生メニューをカフェテリアプランとして提供。健康保険組合の新規設立支援、健康保険組合事務局の運営支援を目的とした人材派遣などのHR（ヒューマンリソース）マネジメント事業も手掛ける。13年12月期第2四半期累計の売上高構成比はバリューカフェテリア事業が76.8%、HRマネジメント事業が23.2%。

■ 特徴

ビジネスの中核となっている「バリューカフェテリアシステム」は、ネットを通じて健康診断予約や健康診断結果管理、メタボ対策Web支援などの健康管理各種サービスを提供する統合システム。健康保険組合などの利用者は目的、用途に応じて必要なサービスを選択して利用できるほか、各種サービスを介した個人の利用データも格納でき、履歴管理や分析を行うことも可能となっている。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年12月期の連結経常利益は前期比0.7%増の3億200万円を計画する。足元の業績成長率は小さいが、高齢者医療制度創設や、安倍政権の成長戦略の中でも国民の健康寿命延伸がテーマのひとつとして掲げられるなど、システム関連の需要は中期的に高まるものと期待されている。

■ 定性分析

株式市場におけるヘルスケア分野は安定性こそ評価されているものの、高成長市場としてのイメージはそれほど高くなく、低PERに放置される銘柄も少なくない。ただ、同社はテーマ性の強さが評価材料となっており、初値買い人気は高まりそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は8.3億円程度。吸収金額自体は好地合いのもとで軽く吸収できる規模だが、株主にはベンチャーキャピタルが多く、想定外の株式が流通する可能性もある。需給状況は見た目ほど良好ではない。

(小泉健太)

■ 類似企業

バリュースター (6078・JASDAQ)	予想PER12.6倍 (仮条件上限)
データホライゾン (3628・マザーズ)	予想PER39.4倍
ピーエスシー (3649・JASDAQ)	予想PER39.4倍

■ 引受証券

野村証券、エイチ・エス証券、岡三証券、SBI証券、マネックス証券、いちよし証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年12月期(実績)	1,844	—	281	—	162	—	159.2	—
12年12月期(実績)	1,894	2.7	300	6.8	159	▲1.9	156.0	—
13年12月期(会社予想)	1,950	2.9	302	0.7	168	5.6	158.3	25.0

※ 11年12月期から連結決算

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年12月期	1,043,000	3,915	687	184	674.4	17.5	26.3
12年12月期	1,047,000	3,989	848	185	829.6	21.3	20.8

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	藤田 美智雄	358,700	28.26
2	森嶋 正	88,200	6.95
3	片切 寛	65,900	5.19
4	バリューHR	54,000	4.25
4	あまの創健	54,000	4.25
6	ニッセイ・キャピタル4号投資事業有 限責任組合	50,000	3.94
7	安田企業投資4号投資事業有限責任 組合	40,000	3.15
7	法研	40,000	3.15
9	増山 育男	32,000	2.52
10	バリューHR従業員持株会	30,000	2.36

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	藤田 美智雄
取締役 会長	森嶋 正
取締役 カフェテリア・システム本部長	大村 祐司
取締役 健康管理本部長	飯塚 功
取締役 営業本部長	佐々木 康介
取締役 経営管理本部長	遠藤 良恵
監査役(常勤)	小野 哲生
監査役	内木 和富巳
監査役	長澤 泰男

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会